

研修会

谷津ミュージアムでヒカリモの観察と鳥の空間利用を調べよう

田中玉枝（松戸市）

日 時：2014 年 4 月 15 日（火）10：00～14：00

場 所：岡発戸・都部谷津ミュージアム（我孫子市）

講 師：浅間 茂 氏

参加者：指導員 22 名 谷津ミュージアムの会 7 名

4 月にしては強すぎる日差しの下、7 班に分かれ、鳥のこの谷津の利用状況を平面模式図と断面模式図に落とす調査、実習が行われました。調査は初めての人がほとんどでみんなドキドキの様子でしたが、名前のわかる鳥だけを書けばいいという浅間先生の言葉に、気を取り直し始めました。

班によってたくさん鳥が行き来して、書ききれない班や鳥があまり来なかったという班などいろいろでしたが、最後に班ごとにまとめた結果を提出して、自分のフィールドで使える技を一つ身に着けたようです。この後のまとめは先生の宿題です。

午後からは残念ながらヒカリモがまだ生育していず、見られませんでした。プランクトンの観察をおこないました。プランクトンの多い場所と少ない場所、どうしてでしょう？ という質問が先生から出ました。

さて その答えは？ 各班から感想をいただきました。

(1 班) 広い湿地で水は絶えずあるという素晴らしいところです。ウワミズザクラ、イヌザクラの立派なものあり、ハンノキ、ウラシマソウが多く出ているのにびっくりしました。

(2 班) 見慣れている鳥でも見方によって違って見える、鳥の生活ぶりが少しわかりました。

(3 班) 谷津の鳥の利用状況を調べよう??? 初めての体験でドキドキでも胸をはずませて参加しました。

【両脇の森の中の利用】中間の谷津田へ降りることは見なかったですが、森と森の移動、それも対での移動で春!! 鳥の行動の一部でしたが、この森の大切さ、そして餌をはむ空間を想像すると、とても大切な土地です。いい所で～す。

(4 班) 初めて鳥の調査に参加しましたが、記入の仕方が難しかったですが、鳥の動きを知るにはやはり時間をかけてじっくり見る必要があるということが、わかりました。

(5 班) 谷津の鳥の飛んでいる様子を線で書き表す。50 分間で四方八方に線が入り乱れゴチャゴチャになったが、整理できるのかなあ～。

(6 班) 1 時間も木に向かって日なたに佇んでいたが、鳥があまり木を利用しない場所だったので、エノキ、ムク、クワ、絡むアケビやクワゴの観察も同時進行で楽しんだ。

(7 班) 鳥の空間利用という違った視点で鳥の観察ができ、勉強になりました。友の会の活動も聞けて、大変有意義な時間を過ごせました。



谷津ミュージアムの入口で浅間先生からのお話